

令和3年度 第1回 堺市スポーツ推進審議会 会議録

1. 日 時 令和3年10月15日（金）午後1時半から
2. 場 所 堺市役所 本館12階 第1・第2委員会室
3. 出席委員 坪内伸司会長、中西一郎副会長、藤井載子委員、上田勝人委員、西川良平委員、島木伸也委員、池田義枝委員、清川健一委員、澤本美奈子委員、西山哲郎委員、加藤伸一委員、福尾ひさみ委員
4. 欠席委員 ト部啓一委員、田中義昭委員、池島明子委員、秋元美智代委員
5. 行政側出席者 文化観光局長、スポーツ部長、スポーツ推進課長、スポーツ施設課長、スポーツ推進課長補佐、スポーツ施設課長補佐、スポーツ推進課企画係長、スポーツ推進課推進係長、スポーツ施設課管理係職員、スポーツ施設課施設係長
6. 傍聴者 1人
7. 案件
 - (1) スポーツ推進プランの概要と進捗管理について
 - (2) 堺市スポーツ推進プランと全体計画との関連性について
 - (3) 堺市スポーツ推進プランにもとづく令和3年度及び令和4年度における主要取組について

8. 会長・副会長選任

令和3年・4年度の堺市スポーツ推進審議会会長に坪内伸司委員、副会長に中西一郎委員が選出され、就任が決定した。

9. 会議内容

事務局より案件(1)から(3)について「案件説明パワーポイント資料」・「資料1」・「資料2」・「資料3」を用いて説明

10. 質疑応答

【加藤委員】

大規模スポーツ施設の利用促進を図るとのことだが、その大規模スポーツ施設、例えば大浜体育館や大仙公園等の大きな公園があると思うが、各施設へのアクセスが、車では容易だが、公共交通機関は難しい。スポーツ施設や大きな公園等、市民がスポーツ等できる場所を掲載した地図や路線図等あるか。

【事務局】

スポーツ推進課に運動・スポーツ習慣化事業実行委員会を立ち上げており、アクセスまでは書けていないかもしれないが、ご自宅の近くにあるウォーキングコースのある公園を紹介するパンフレットを作成し、薬局等に配布した実績がある。

一方で、体育施設へのアクセスについては、多数の来客の見込める様なトップレベルの試合等を開催する場合、主催者にて南海バスなどへ臨時バスを出していただけるよう調整をお願いしている。常時できない状況ではあるが、必要に応じて対応を行っている。

【中西委員】

堺市スポーツ推進プランの概要の説明があったが、以前の資料を確認したところ、過去に政令指定都市のスポーツ振興計画について、笹川財団作成のスポーツ白書の中に政令指定都市の記載があり、当時19の政令指定都市があり、2010年(平成22年)10月現在、スポーツ推進計画の完了が14都市、策定中が4都市、計画中が1都市で、当時堺市は計画中と記載があった。当時、1999年から2010年は市町村合併が盛んであり、急激に増加していた。市町村の数が3,232から約1,700まで合併が相次ぎ、計画策定が難しい時期であったと考えられる。その中で、堺市は計画中であった。それを受けて、計画ができたが、ぜひ、計画を進めるために、今回の計画は令和8年までとなっている。平成22年の白書に取り上げられている都道府県の計画があるが、10年から12・13年のスパンで計画が成されている。今回、早く結果を出す必要があると思うが、あまりにも、計画の内容が大きいのに期限が短く、うまくいくか。よっぽど本腰入れて、お金も使いながら実施しないとイケないのではないかとというのが感想である。

加えて、資料の10ページのスポーツ運動習慣化の充実について、アウトリーチ型の体力測定、出かけて行って事業を実施することだが、計画の中でどうなるかはわか

らないが、できるだけたくさんの回数を実施してほしい。1、2 回の実施で、堺市の平均を出すことがない様に。学校の体力測定もだいたい 30 人くらい計測して平均すれば、600 人・700 人いても結果の平均は変わらないというのが、委託業者の回答であったが、一般では、測定の機会を得て、本人が現場へ赴いて、スポーツテストを受けて、結果を持ち帰ってはじめて、生きてくると考える。実施回数を多くしてほしい。堺市教育スポーツ振興事業団で、府立の自然の家でキャンプをするが、40 名、参加者が多くて抽選で決めているとのことでしたが、なぜ 100 人が申込んだら 100 人を連れていけないのか。施設は 400・500 人宿泊可能な施設であるから可能ではないかと意見したところ、バス 1 台分の人数しか考えていないとの回答であった。40 人募集で、40 人やっと集まりましたであれば仕方がないが、2 倍、3 倍に希望者がいるのに当初の人数で決めてしまうのはもったいないし、それで私たちは事業をやっていますというのは、もったいなく、もっともっと有効に実施してほしい。1 カ所、2 カ所ではなく、できるだけたくさんの機会を作してほしい。

【事務局】

計画期間について、堺市の現在の計画の作り込みが、10 年先を見据えながら 5 年計画を策定している場合が多い。堺市基本計画 2025 も同様である。それに基づく個別計画も同様で、視線は先に置くが、計画期間は短くしている。理由は、様々な外的要因等でうまくいかない。ゆえに実際計画するのは 5 年計画を立てて、スポーツ推進プランも 2 年半でマイナーチェンジを行ってはどうかと思っている。PDCA を細かく回すことが計画上必要であると考えている。

アウトリーチ型の体力測定について、来年度の事業であることから庁内調整がまだの状況である。議会での予算要求を伴うため、議会との調整も必要となる。については、細部について申し上げにくい。スポーツ推進課としては、我々が直接出向くことについては、限界があると思う。については、例えば、各企業の健康の担当課長等に集まっていただいてノウハウを伝達し、各企業において自主的に実施していただけるような体力測定会を考えている。各企業が健康診断と同時に年 1 回体力測定を行う等が将来的に広がればいいと考えている。いずれにせよ、予算や回数、庁内調整等があるため、詳細な説明は控えさせていただきたい。

【藤井委員】

総合型地域スポーツクラブについて、先日、総合型地域スポーツクラブ推進ネットワーク堺の設立会議に出席した。総合型地域スポーツクラブを一言では説明できず、難しい。ピンポイントで意欲のある団体に声掛けをされていると思うが、説明にあった意向調査はいつ行ったものか。結果はどうであったかお伺いしたい。

【事務局】

既存のスポーツ地域活動の現状、グラウンドなどの活動場所等の資源の有無、すでに活動されている既存チームとの連携や既存チーム間の連携状況などについて、調査を実施した。ほぼすべての校区から回答いただき、現在、事務局で内容確認を行っている。

そのうち、数多くのスポーツ活動が実施されている、あるいは、学校や地域会館以外の活動場所がある、または、既存のチーム間での連携が進んでいるなど、総合型地域スポーツクラブ創設の可能性のある校区については、順次詳細な聞き取りをスポーツ推進課より行っている。また、複数の校区よりクラブ設立の興味があるとのお話をいただいている。

【加藤委員】

体力測定会実施について、中小企業に対し、スポーツ施設、例えば大浜体育館等の利用を提案していくということか。

【事務局】

体力測定を会社から離れて特別に行うことは、各企業の事情も考慮する必要があることから可能性は否定しない。我々の考える体力測定会は、小スペースで実施可能な項目について、健康診断と時期を合わせ、握力や長座体前屈のようなメニューでの実施で、皆さまの意識が少しでも変わるのではないか。例えば、通勤時に1駅前で降りて歩こうという意識改革が狙いである。このような点が、目標としている指標に対し、効果的であると考えている。